

令和 8 年ホヤ類調査結果速報 No. 4

令和 8 年 9 月 25 日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

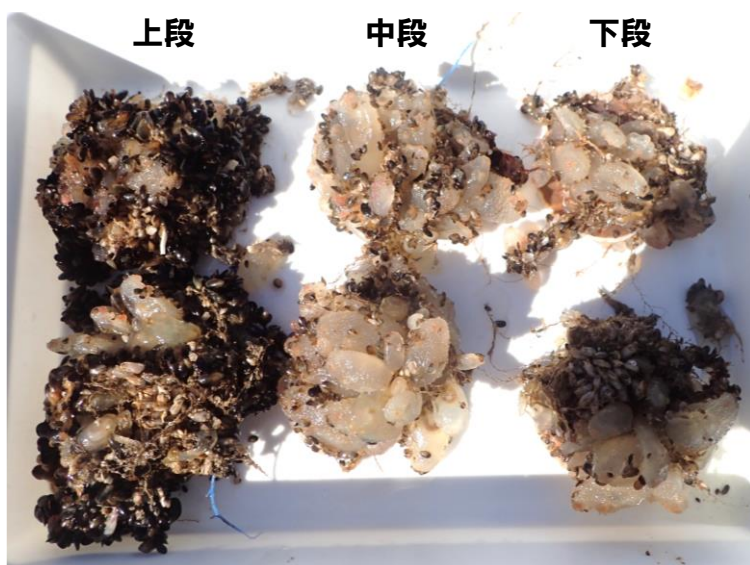
※この速報は[函館水試HP](#)でも見ることができます。「[函館水試](#) ホヤ情報」で検索。

9 月 17 日に渡島管内八雲町内浦地区で耳吊りホタテガイ付着物調査および海洋環境調査を実施しました。

結果概要

- **ヨーロッパザラボヤの付着数は昨年よりも多い。**
ホタテガイ 1 枚あたりの付着数は 24.7 個体で、昨年同期（7.9 個体）を大きく上回りましたが、平年（33.5 個体）よりも少なかったです。
- **ヨーロッパザラボヤの付着重量が平年よりも重い。**
ホタテガイ 1 枚あたりの付着重量は 37.2g で、昨年同期（12.5g）および平年（25.2g）を上回りました。
- **ヨーロッパザラボヤのサイズは平年よりも大きい。**
平均サイズが平年よりも 5mm 程度大きく、40mm 以上の大型個体の付着も確認されました。付着数は平年よりも少ないにもかかわらず、付着重量が重いのは、サイズが大きいことが要因とみられます。
- **早めの貝洗い作業開始を推奨。**
冬季にかけて付着重量は著しく増加する見込みです。貝洗いの実施により、来年の付着数を抑制する効果が期待できます。

写真 ホタテガイに付着したヨーロッパザラボヤ 令和 8 年 9 月 17 日 八雲町内浦地区



問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 水上・馬場 TEL：0138-83-2893

※本調査および情報配信は特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構から委託された令和 8 年度有害生物（ザラボヤ）出現情報収集・解析及び情報提供事業で実施しています。

耳吊りホタテ貝付着物調査

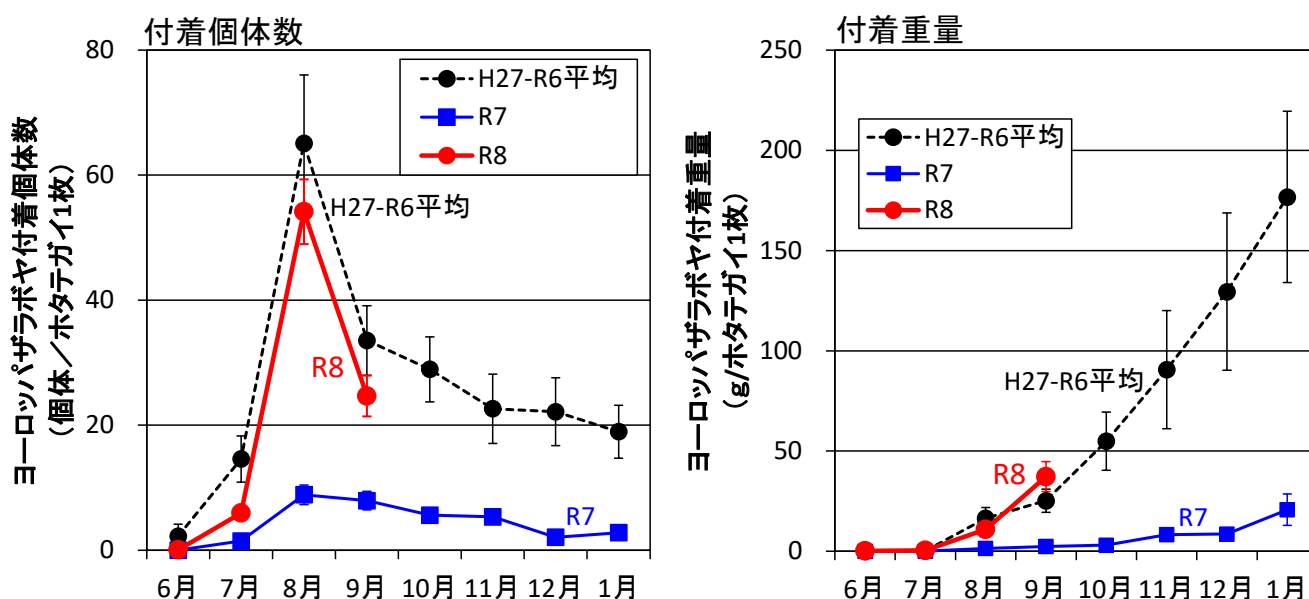
〔調査月日：9月17日、調査場所：八雲町内浦沖、採取数：上中下層 各5枚〕

ホタテガイを上層、中層、下層から5枚ずつ抽出し、肉眼及び実体顕微鏡を用いて、付着物を調査しました（写真）。ヨーロッパザラボヤの平均付着数はホタテガイ1枚あたり24.7個体と前回（8月）から大きく減少しました。また、この値は平年（H27～R6の平均、以下同様）の33.5個体を下回りました（表1、図1）。一方、ヨーロッパザラボヤの平均付着重量はホタテガイ1枚あたり37.2gと平年の25.2gを大きく上回りました（表1、図1）。平均サイズは21.2mmであり、平年の16.8mmよりも5mm程度大きいです。また、サイズ組成をみると40mm以上の大きな個体も出現しました（図2）。今年は平年と比べて、付着数が少ないにもかかわらず、付着重量が重い理由としては、サイズが大きいことが要因です。水温は23℃を超える高水温は認められず、7m層よりも深い層では平年よりも水温が低くなっていました（図3）。

表1 付着生物調査結果（八雲町内浦地区：令和8年9月17日）

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	地区平均
全付着物重量	141.2g	115.2g	44.2g	100.2g
ヨーロッパザラボヤ	15.8g	70.6g	25.4g	37.2g
その他	125.4g	44.6g	18.8g	62.9g
ヨーロッパザラボヤ個体数	13.4個体	37.4個体	23.2個体	24.7個体
令和7年9月（R7.9.18） の個体数	7.0個体	9.2個体	7.6個体	7.9個体
令和6年9月（R6.9.24） の個体数	12.0個体	11.0個体	15.2個体	12.7個体
令和5年9月（R5.9.25） の個体数	2.4個体	7.6個体	1.8個体	3.9個体

図1 ヨーロッパザラボヤの付着量の季節変化



左：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化

右：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化

各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。

図 2 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲町内浦地区：令和 8 年 6～9 月）

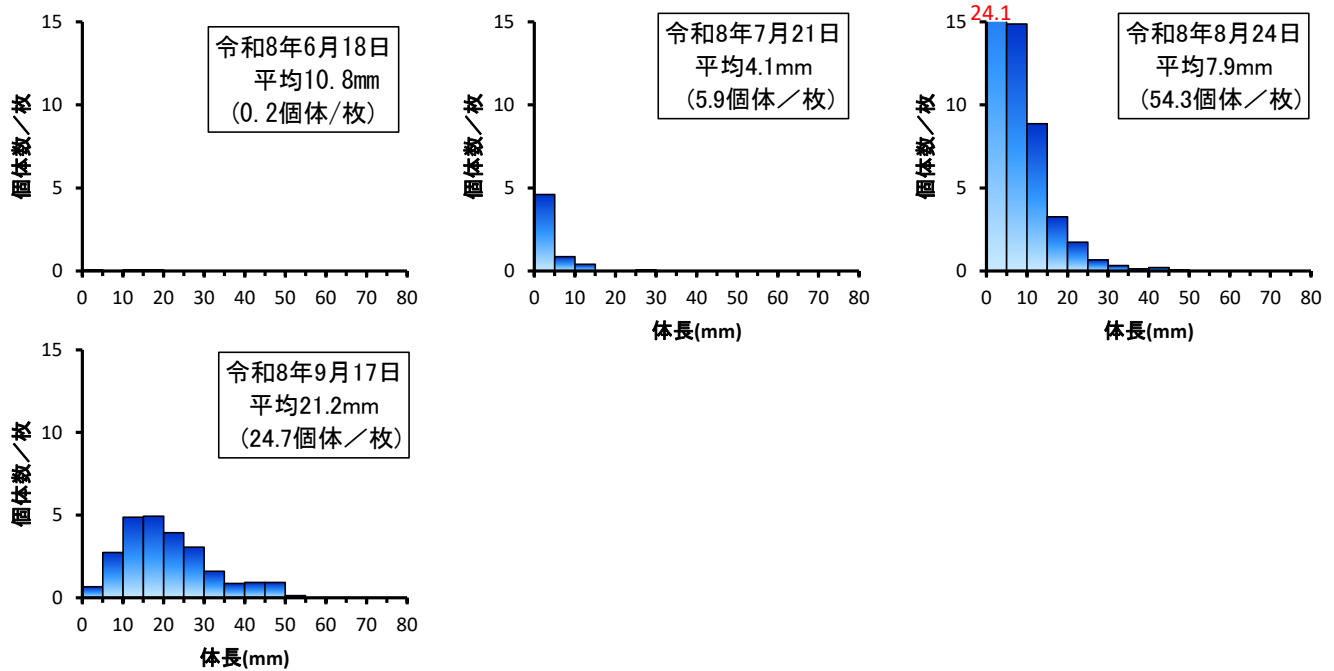
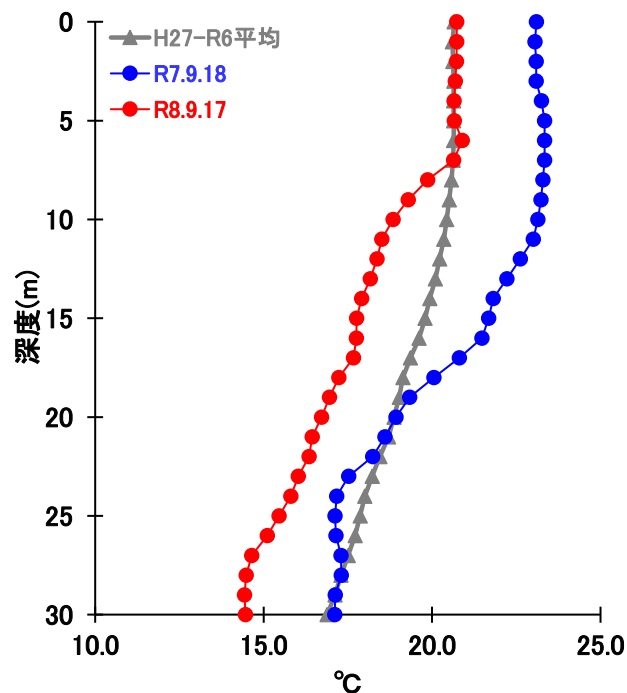


図 3 調査地点近傍（八雲沖 3 マイル）の令和 8 年 9 月 17 日の水温の鉛直分布

● : R8 年、▲ : R7 年、× : H27-R6 平均



今後の見通し

図 1 に示したように、平年の付着重量は冬季にかけて急激に増加していきます。今年の付着重量は既に平年を上回っていることを踏まえると、今後も平年を上回る付着重量で推移する可能性があります。稚貝の本分散作業との兼ね合いもありますが、可能な範囲で、早めの付着物除去作業の実施を推奨します。今年付着したヨーロッパザラボヤは来年には親になりますので、駆除を実施することで来年の付着数を抑制する効果が期待できます。